

神戸市議会が 定数4減可決

神戸市議会は13日、議員定数を現行の69から65に減らす条例改正案を賛成多数で可決した。人口が同規模の政令市である川崎市（定数60）や福岡市（定数62）と同水準を目指した削減で、来年春の市議選から適用される。

改正案は自民、公明など5会派の議員らが共同提出。各会派は次期市議選後、さらに5減を目指すとしている。他に維新が9減、共産などが1増1減の改正案を提出したが、いずれも否決された。定数削減は3減を決めた平成18年以来となる。

市議会の議員定数をめぐっては今年1～3月に開かれた議会制度改革検討会で議論されたが結論に至らず、その後も会派間の調整が続いていた。